

平成 28 事業年度

事業報告書

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

1. 概要

平成 28 年産豆類の作付面積については、大豆は 40,200ha で、他作物からの転換等により、前年産比で 6,300ha (前年産対比 19%) 増加した。同様に小豆類は 16,200ha で前年比▲5,700ha (同▲26%) と大きく減少した。菜豆は 7,940ha で前年比▲1,610ha (同▲17%) の減少となった。

豆類の生育については、雪解けが早く気温も高く推移したため、播種作業はほぼ平年並みに進んだ。その後、低温や降雨が続き生育に遅れが見られるようになり、特に 8 月中旬から下旬にかけての台風の上陸や接近により生育が阻害され、いずれの豆類も品質が低下するとともに、単収が平年作を下回るものとなった。

事業については、27 年産まで 4 年連続の豊作により緩和した小豆類の需給を計画的に改善していくため、小豆類生産安定対策事業(安定生産啓発特別事業)を実施した。豆類生産流通安定推進事業に係る豆類需給安定会議(9 月開催予定)については、十勝地方が台風により大きな被害を受けたため開催を中止した。また、豆類消費啓発助成等事業及び豆類調査研究助成事業については、公募により選定された課題に対し、助成金を交付し、事業を実施した。

資産運用については、日銀のマイナス金利付き量的・質的金融緩和策により低金利の状態が続いており、債券運用には厳しい環境にあるが、当協会は国内債を中心とした比較的長期の運用となっていることから、計画通りの運用となった。

2. 組織に関する事項

(1) 会員の状況

区分	期首	合併に伴う動き		加入	脱退	3月末
		増	減			
正会員	95	—	—	—	—	95

(2) 平成28事業年度通常総会

1) 開催日 平成28年6月21日(火)午後2時30分

2) 開催場所 全日空ホテル23階「白樺の間」

3) 会員数及び出席者数

正会員数 95

総会出席者数 72

(本人出席36、委任状9、書面議決27)

4) 議決事項

第1号議案 平成27事業年度事業報告書、財務諸表、附属明細書、財産目録について

第2号議案 役員選任について

第3号議案 平成28事業年度役員報酬について

第4号議案 執行規程の一部改正について

第5号議案 事業基盤財産取扱規程の一部改正について

(3) 役員の就任状況

本総会における役員の退任、就任は次のとおり。

1) 退任した役員

監事 篠田 雅 (北いぶき農業協同組合代表理事組合長)

2) 就任した役員

監事 北 輝男 (そらち南農業協同組合代表理事組合長)

3. 一般管理に関する事項

(1) 理事会

第1回理事会 平成28年5月24日(火) 13時30分

- 報告事項
- 1) 平成27年産道産豆類の需給見込について
 - 2) 理事長、副理事長、専務理事の職務の執行状況について

議案

- 1) 平成28年度小豆類生産安定運動推進事業の実施計画について

- 2) 平成27事業年度事業報告書、財務諸表、附属明細書、財産目録について
- 3) 役員選任について
- 4) 平成28事業年度役員報酬について
- 5) 規程類の一部改正について

① 執行規程

② 事業基盤財産取扱規程

③ 資産管理規程

- 6) 事業準備財産取扱規程の制定について
- 7) 平成28事業年度通常総会の開催について

第2回理事会 平成28年6月21日(火) 15時10分

- 議案
- 1) 理事長、副理事長、専務理事の選定について
 - 2) 資産運用執行責任者の任命について

第3回理事会 平成28年10月24日(月) 13時30分

- 報告事項
- 1) 平成28年産道産豆類の需給見込について
 - 2) 平成28事業年度収支予算書の変更について
 - 3) 平成28事業年度上半期事業報告並びに収支報告について

同 監査報告について

- 4) 資産の運用状況と今後の取進めについて
- 5) 理事長、副理事長、専務理事の職務の執行状況について
- 6) 組織等の統合の検討開始について

- 議 案
- 1) 平成28年産対象豆類の基準価格並びに価格差補てん対象数量について
 - 2) 平成28年度豆類需給安定会議の中止について
 - 3) 小豆類生産安定対策事業に係る業務方法書細則の一部改正について

第4回理事会 平成29年3月28日(火) 13時30分

- 報告事項
- 1) 平成28年産道産豆類の需給見込について
 - 2) 平成28年度豆類流通円滑化緊急対策事業実施報告について
 - 3) 平成29年度事業に係る公募結果について
 - 4) 資産の運用状況と今後の取進めについて
 - 5) 理事長、副理事長、専務理事の職務の執行状況について

- 議 案
- 1) 平成28事業年度収支見込と決算処理方針につ

い

て

- 2) 赤系金時安定供給緊急対策事業の実施及び同事業実施要領の制定について
- 3) 平成29事業年度事業計画並びに収支予算について
- 4) 平成29事業年度役員報酬について

5) 規程類の一部改正について

①規程類管理規程

(2) 監事会

第1回監事会 平成28年5月24日(火) 11時30分

- 議 題
- 1) 平成27事業年度決算監査の実施について
 - 2) 監事監査報告について
 - 3) 平成28事業年度監査計画について

第2回監事会 平成28年10月24日(月) 11時30分

- 議 題
- 1) 平成28事業年度上半期監査の実施について
監事監査の結果について(十川監事、監査報告書)
 - 2) 監査報告について

(3) 業務評価委員会

第1回業務評価委員会

平成28年5月19日(木) 13時00分

- 報告事項
- 1) 平成27年産道産豆類の需給動向について
 - 2) 平成28事業年度事業計画について
 - 3) 平成28年度小豆類生産安定運動推進事業の取組みに向けた経過について
- 審議事項
- 1) 平成27年度事業報告(案)について
 - 2) 平成28年度小豆類生産安定運動推進事業の実施計画(案)について

第2回業務評価委員会

平成28年10月19日(水) 13時30分

- 報告事項
- 1) 平成28年産道産豆類の需給見込について
 - 2) 平成28事業年度上半期事業報告について

- 審議事項
- 1) 平成28年産対象豆類の基準価格（案）について
 - 2) 平成28年産対象豆類の価格差補てん対象数量（案）について
 - 3) 平成28年度豆類需給安定会議の中止（案）について
 - 4) 平成29事業年度における実施予定事業について
 - 5) 小豆類生産安定対策事業に係る業務方法書細則の一部改正について

4. 収支及び財務に関する事項

(1) 収支（経常増減）について

今年度の経常収益は昨年までの円安により、保有する仕組債が殆ど期限前償還され、替わりに国内債券による運用を図ったため、運用益はほぼ計画通りとなり、年間計画112百万円に対して120百万円（計画比107%、前年同期比44%）となった。

満期償還による国内債536百万円（額面）と準備財産で保有する特別預金と併せて国内債を847百万円（額面）購入した。

一方、経常費用については、事業費138百万円、管理費8百万円、合計146百万円となった結果、評価損益等調整前の経常増減額は27百万円の減少となった。

特定資産評価損益と償還損益の合計はマイナスの72百万円となり、これらを含めた当期経常増減額は98百万円の減少となった。

(2) 資産の状況

資産総額は前期末に比べ96百万円の減少となった。減少の主な要因は特定資産運用益が昨年に比べ大きく減少したことによる。

<資産の状況（平成29年3月末日現在）>

単位：千

円

	前期末残高	当期末残高	増減
流動資産合計	262,843	178,149	△84,694
保管財産	4,558,500	4,558,500	0
事業基盤財産	0	1,999,248	1,999,248
豆類価格安定対策事業基盤財産	1,890,098	0	△1,890,098
豆類価格安定対策事業準備財産	1,000,000	1,000,000	0
小豆類生産安定対策事業基盤財産	159,220	0	△159,220
小豆類生産安定対策事業準備財産	500,000	500,000	0
豆類流通円滑化緊急対策事業準備財産	204,608	240,940	36,333
退職給付引当資産	9,898	12,198	2,300
特定資産 計	8,322,323	8,310,886	△11,437
その他固定資産	82	0	△82
固定資産合計	8,322,405	8,310,886	△11,519
資産合計	8,585,248	8,489,035	△96,213

注：四捨五入の関係で、各資産の金額と合計は必ずしも一致しない。

5. 事業に関する事項

(1) 平成28年産豆類の作付け及び生育の状況

豆類の作付面積については、大豆は40,200haで、小豆や他作物からの転換等により、前年産に比べて6,300ha(前年産対比19%)増加した一方、小豆は16,200haで、前年産に比べ5,700ha(同26%)減少した。

菜豆は7,940haで、他作物への転換等により、前年産に比べ1,610ha(同17%)減少し、類別では金時は6,170haで前年産の99%、手亡は1,200haで前年産の44%となった。

なお、生産目標面積(「作付指標面積」と同意。)に対する作付面積の割合は、大豆では115%、小豆では85%、菜豆では92%、またその内訳は、金時では103%、手亡では67%となった。

豆類の生育については、春期は、融雪が平年より早く、他作物の作業も進んだことから、播種作業はおおむね順調に進んだ。その後、低温や降雨が続き生育に遅れが見られるようになり、特に、8月中旬から下旬にかけての台風の上陸や接近により生育が阻害され、いずれの豆類も品質が低下するとともに、単収が平年作を下回るものとなった。

大豆の10a当たり収量は210kg(平均収量対比88)で著しい不良となったが、作付面積が増加したことから収穫量は前年産の85,900tから1,500tの減少にとどまり84,400t(前年産対比98%)となった。

小豆も10a当たり収量が167kg(平均収量対比69%)と著しい不良となり、作付面積も大きく減少したため収穫量は前年産の59,500tから半減して27,100t(前年産対比46%)となった。

菜豆は10a当たり収量が69kgで平均収量対比37となり色流れも発生し、収穫量は前年の24,800tから大幅に減少して5,480t(同22%)となった。内訳をみても、金時の収穫量が前年産の21%となる

3,150 t、手亡では前年産の 19%となる 1,600 t となり、いずれも著しい不作となった。

平成 28 年産豆類の生産状況

項目 品目	平成 28 年産					前 年 産	
	指標面積 h a	作付面積 h a	単 収 k g/10a	生 産 量 t	10a 当たり 平均収量 対 比	作付面積 h a	生 産 量 t
大 豆	35,000	40,200	210	84,400	88	33,900	85,900
小 豆	19,000	16,200	167	27,100	69	21,900	59,500
菜 豆	8,630	7,940	69	5,480	37	9,550	24,800
金時	6,000	6,170	51	3,150	31	6,260	15,100
手亡	1,800	1,200	133	1,600	58	2,720	8,400
合 計	62,630	64,340				65,350	

資料：大豆は「平成 28 年産大豆の市町村別収穫量（北海道）」（農林水産省北海道農政事務所平成 29 年 4 月 19 日公表）、小豆及び菜豆は「平成 28 年産大豆、小豆、いんげん及びらっかせい（乾燥子実）の収穫量」（農林水産省大臣官房統計部、平成 29 年 2 月公表）

注 1：10a 当たり平均収量対比とは、10a 当たり平均収量（過去 7 か年の実績値のうち、最高・最低を除いた 5 か年の平均値）と当年産の 10a 当たり収量との対比である。

2：菜豆のうち、金時、手亡以外については、未調査である。

(2) 豆類価格安定対策事業

ア 平成27年産豆類価格安定対策事業

平成27年産対象豆類に係る価格差補てん事業については、対象豆類の平均価格が、いずれも補てん基準価格を上回ったため、発動されなかった。

[平成27年産対象豆類の販売状況]

品名	等級	項目	調整販売				
			数量 金額	内 訳			
				10-12月	1-3月	4-6月	7-9月
大正金時	2等	販売計画(俵)	149,516	52,000	37,100	31,600	28,816
		販売実績(俵)	149,516	61,400	28,600	27,000	32,516
		販売金額(千円)	3,817,539	1,568,411	715,844	679,484	853,800
		販売単価(円)	25,533	25,544	25,030	25,166	26,258
		平均価格(円)	23,998円 <精算：平成28年9月30日> ★ 補てん基準価格 17,060円				
北海金時	2等	販売計画(俵)	5,310	1,800	1,300	1,100	1,110
		販売実績(俵)	5,310	1,800	1,400	1,200	910
		販売金額(千円)	130,827	44,842	34,076	29,379	22,531
		販売単価(円)	24,638	24,912	24,340	24,483	24,759
		平均価格(円)	23,113円 <精算：平成28年9月30日> ★ 補てん基準価格 17,060円				
大手亡	2等	販売計画(俵)	81,946	21,900	20,900	20,800	18,346
		販売実績(俵)	81,946	7,300	21,400	23,500	29,746
		販売金額(千円)	1,225,138	109,760	323,041	355,109	437,227
		販売単価(円)	14,951	15,036	15,095	15,111	14,699
		平均価格(円)	13,505円 <精算：平成28年9月30日> ★ 補てん基準価格 10,520円				

資料：ホクレン農業協同組合連合会

注：合計値と内訳は、ラウンドの関係で一致しない。

イ 平成28年産対象豆類の基準価格

平成28年産対象豆類の価格差補てん事業の基準価格については、平成28年10月19日に開催された第2回業務評価委員会の意見を聴き、10月24日に開催された第3回理事会の議決を経て、10月26日に北海道知事の承認を受けたので、同日付けで、次のとおり公告した。

[基準価格]

項目 品目	規格等級	単位 (kg)	場 所	基 準 価 格 (円)			(参考)
				補てん 基準価格	最 低 基準価格	積 立 基準価格	基本価格 (円)
金 時	2 等	60	産地倉庫	20,930	16,280	30,230	23,250
中長うずら	同 上	同上	同 上	21,590	16,790	31,190	23,990
大 手 亡	同 上	同上	同 上	11,380	8,850	16,430	12,640

ウ 平成28年産対象豆類の対象数量

平成28年産対象豆類の対象数量については、平成28年10月19日に開催された第2回業務評価委員会の意見を聴き、10月24日に開催された第3回理事会の議決を経て、10月26日付けで、次のとおり定めた。

対 象 数 量	148,289 俵
内 訳	
大 正 金 時	104,642 俵
北 海 金 時	2,884 俵
大 手 亡	40,763 俵

(3) 小豆類生産安定対策事業

供給過剰となっている道産小豆類の需給環境の計画的な改善に資するため、需給改善に向けた生産目標面積を設定するとともに、当該

目標面積の遵守に向けた取組を支援する「小豆類生産安定運動推進事業（安定生産啓発特別事業）」を実施し、当該事業に取り組んだ60農協等に対して、21,851千円を助成した。

（4）豆類生産流通安定推進事業

豆類の安定的な生産流通に資するため、必要となる生産者の意向や、豆類の生産・流通・消費動向等に関する調査を実施（委託）したほか、雑豆の生産目標面積の設定等を行った。

なお、雑豆に関する関係者間の情報の交換・共有化を図るため、毎年実施してきた会議については、開催予定地が台風により被災したことなどから、開催を急ぎょ中止した。

ア 雑豆の安定的供給に必要な委託調査の実施

豆類の生産目標に関する業務については、「豆類（雑豆）の生産目標面積設定に係る情報の収集及び当該面積の周知に関する業務」を平成28年4月1日付けで北海道農業協同組合中央会に委託（委託額1,000千円）し、29年産雑豆に係る作付意向の把握、地域別生産目標面積の策定、当該面積の生産者への啓発に要する費用を委託費として支出した。

また、「豆類の生産・流通・消費動向の調査に関する業務」については、当該業務を平成28年5月1日付けでホクレン農業協同組合連合会に委託（委託額4,000千円）し、道内における28年産雑豆の生産（作付け及び収穫）の動向並びに全国主要消費地域における雑豆の消費の動向に関する調査に要する費用を委託費として支出した。

イ 生産目標面積の設定・周知

アの委託調査を通じて得られた情報等を踏まえ、需要に即した計画的な雑豆の供給に資するため、平成28年12月16日付けで平成29年産の雑豆の生産目標面積を設定した。

(5) 豆類消費啓発助成等事業

ア 北海道・豆トークショー2016の開催

平成28年10月14日、豆の日（10月13日）及び豆月間（10月）の協賛行事である「北海道・豆トークショー2016」を北見市のホテル黒部において約140名の参加を得て開催し、「あなたの健康を支える豆料理」をテーマに豆類の機能性等に関するセミナー及び豆料理の試食会を行った。

なお、一部業務については「業務の実施補助者」（受託者）として選定された株式会社朝日アグリとの間で委託契約を締結し、イベント会場の賃借等に要する費用を委託費（確定額1,460千円）として支出した。

イ 公募事業の実施

豆類消費啓発助成等事業のうちア以外の助成事業については、平成25年度から公募の方法により実施しているところであり、平成27年12月4日～12月18日にかけて公募要領を当協会ホームページに掲載し、平成28年1月29日に開催した公募事業等審査委員会において株式会社朝日アグリ及び株式会社ブレナイ社から応募のあった課題を平成28年度採択の実施課題として選定し、平成28年4月に概算払を必要とする者に対して助成金を交付した。

その後、平成29年3月22日までに事業完了報告書の提出があったので、助成金の額（総額8,615千円）の確定を行った。

実 施 課 題 名	確定額（千円）
～北海道の豆で作ろう～親子で和菓子作り教室	2,829
豆カレッジの開催～雑豆授業と豆料理教室～	809
ビーンズクッキング動画及びWEBサイト制作	2,585
プロフェッショナルのための「道産豆を畑で体験ツアー」	1,342
「親子でカンタン豆料理教室」の開催	1,050

(6) 豆類調査研究助成事業

豆類調査研究助成事業については、豆類消費啓発助成等事業と同様、当協会ホームページへの公募要領の掲載による募集、公募事業等審査委員会での審査を経て、一般社団法人北海道地域農業研究所及び地方独立行政法人北海道立総合研究機構農業研究本部（以下、「農研本部」という。）から応募のあった4課題を新たに選定した。また、平成26年度以降に選定した国立大学法人北海道大学及び農研本部の継続課題3課題についても引き続き助成対象として承認し、平成28年4月に助成金を交付した。

その後、農研本部長等から平成29年3月24日までに事業完了報告書の提出があったので、助成金の額（総額13,140千円）の確定を行った。

<平成28年度新規採択課題>

実 施 課 題 名	確定額 (千円)
北海道産雑豆における豆類価格安定事業の役割に関する調査研究	2,700
小豆、菜豆の新品種早期開発のための世代促進強化	2,000
熱画像による簡易な光合成活性の推定法を用いた雑豆類の多収選抜法の開発	1,500
障害耐性に優れた安定栽培可能な小豆、菜豆の品種開発強化	3,000

<平成26年度以降の継続課題>

実 施 課 題 名	確定額 (千円)
道南地域における大納言小豆の高品質安定生産に向けた栽培法改善及び実需評価	1,500
耐倒伏性・加工適性を備えた多収な中生金時品種開発の選抜強化	2,000
病害抵抗性小豆品種の広域普及に伴い適応した土壌伝染性病原菌の系統と分布	440

(7) 豆類流通円滑化緊急対策事業

道産豆類に対する評価・信用を維持・向上させるための緊急対応として豆年度を期間として実施しているインゲンマメゾウムシの被害軽減対策については、平成25年産より事業実施主体を従来のホクレンから農協及び商系集荷団体に替えて取り組んでおり、平成29年2月7日までに各事業実施主体から平成27年産赤系金時に係る実績報告書（防虫資材の使用=11農協等、食害粒等の強い選別=22農協等）の提出があったので、同年2月16日付けで額の確定を行い、2月24日に助成金49,990千円を支出した。

6. 管理及び運営に関する事項

(1) 資産の運用については、日銀の金融緩和策により低金利の状態が続いており、債券運用には厳しい環境にある。平成27年度迄の円安により期限前償還された仕組債については、日銀のマイナス金利導入前に超長期債を中心に国内債を代替購入しており、ほぼ計画通りの運用益となった。

(2) 組織整備等の取組については、平成25年度から公益法人へ移行したところであるが、更なる持続可能な北海道畑作農業の確立に向けた北海道農協組織整備検討小委員会による検討結果に基づき、耕種基金3団体等の統合に向けた検討を開始した。

(3) 主要業務実施状況

ア. 総務関係

年 月 日	場 所	処 理 事 項
28.4.1	札幌市	北海道耕種酪農畜産団体内部監査運営協議会総会
4.14,5.10	〃	監事監査（決算会計監査）
5.24	〃	第1回監事会、第1回理事会
5.30	〃	組織整備小委員会によるヒアリング
6.21	〃	平成28事業年度通常総会、第2回理事会
8.9-10	〃	内部監査
10.14	〃	監事監査（上半期会計監査）
10.24	〃	第2回監事会、第3回理事会
11.11	〃	耕種基金協会等統合検討WT会議
29.1.17-18	〃	内部監査
3.28	〃	第4回理事会
3.30	〃	耕種5団体・酪農畜産3団体専務・事務局長合同会

		議
--	--	---

イ. 業務関係

年 月 日	場 所	処 理 事 項
28.4.25	札幌市	北海道豆類振興会定期総会
5.19	〃	第1回業務評価委員会
6.28	東京都	全国豆類振興会定期総会
10.14	北見市	北海道・豆トークショー2016（ホテル黒部）
10.19	札幌市	第2回業務評価委員会
10.25	〃	平成28年産対象豆類基準価格の公告
12.6	帯広市	帯広地区懇談会（北海道豆類振興会）
12.21	札幌市	平成28年度農産物検査標準品地方査定会
29.1.12	東京都	全国豆類振興会新年賀詞交歓会
1.20	札幌市	札幌地区懇談会（北海道豆類振興会）
1.24-25	伊達、剣	平成29年豆作り講習会（第1班、日本豆類協会）
1.26-27	淵	平成29年豆作り講習会（第2班、日本豆類協会）
2.3	北見、芽 室 札幌市	平成28年度公募事業審査委員会